

# 募集班長の模型部屋(第19回)

皆さん、こんにちは。このページが更新されているときは、もう9月に入っている頃かと思いますが、夏休みはいかがでしたでしょうか？私は例年のように娘達と東京見物しながら秋葉原へ行って模型の買出しです。秋葉原もどんどん変わっていき、模型店が多くなりました。喜んで模型店回りを楽しみましたが、危うく我が家の防衛費を大幅に超えて装備品を購入するところでした(汗)。模型店の中は子供よりかつての模型少年達がほとんどで、私と同じように目を輝かせてプラモの積み上げられた店内を行き来していました。さて、その模型少年達が作った事がある模型と言え、戦艦大和、ゼロ戦、そして・・・

**タイガー I 型**戦車ではないでしょうか。



艦と航空機は日本なのに、戦車だけはドイツなんですよ。やはり第2次大戦でアメリカとまともに戦えた兵器として人気が高かったのではと思います。

今回はタミヤのオットー・カリウス搭乗車(中期生産型)を作りました。オットー・カリウスさんはドイツ第2次大戦中のドイツ国防軍の優秀な戦車兵の一人で、詳しくはネットでも紹介されていますのでそちらをご覧ください。

キットそのものは、北方総監部広報室勤務の時に知り合いの機甲科幹部から戴いたものです。ある時、広報室に飾ってあった私の模型を見て、後日「齊藤1尉、模型が好きならこれあげる。」とって3両のタイガー戦車を手渡されました。その内の1両です。彼が多忙な為、作れなかった事と、その頃に転属も決まっていた、荷物を処分しなければならなかった理由で私に託されたのでした。でも私もなかなか作ろうと思えず、8年経過してからようやく製作に取り掛かりました。遅れた理由は表面に施された「セメントコーティング」です。

セメント・コーティングは磁気吸着地雷から装甲を守るために施されたもので、模型で表現するためにはさまざまな技法がありました。薄めたパテ塗りやプラペーパーを溶かした上からドライバーで跡を付けたりしていましたが、短気な私には無理！と言うことで、なかなか手掛けられませんでした。そんな私のためか、タミヤのセメントコーティングシートが発売されてるじゃないですか！シートの切れ目がちょっと不自然になるほかは私には大変便利なアイテムですね。でも、タイガーⅠ型用って店頭がないんだよな・・・



でも、やっぱりシートってその切った端をどう処理するかが問題で、この大型ハッチのように、いかにもシート貼ってます的な感じになっちゃうんですよ。今後の課題です。でも、パテを塗りつけてマイナスドライバーで跡をつけていたことを考えれば便利なアイテムです。



キットはストレート組みです。エッチングパーツも入っているのでデテールアップキットも購入しなくて良いのでお手軽に組み上げる事が出来ます。キャタピラ以外は・・・



塗装はタミヤアクリルのダークイエローです。つや消し感においてはアクリルの方が好きなのですが、手でこすると光沢が出てきてしまうことがあるので、製作するときは同じ所を手でこすらないように注意しています。転輪ゴム部はタイヤブラック、キャタピラはハルレッドで基本塗装しています。



基本塗装が終わったらスミ入れをして、いつものウェザリングスティックです。あと、足回りにはたっぷりと贅沢にタミヤのピグメント（ライトアース）を使用しました。キャタピラの裏には押しピン跡があるのでピグメントを塗りつけることでごまかしています。



砲口には発射時のススをパステルをこすり付けました。発射煙噴出孔周辺はススだらけになりますが、ちょっとオーバーだったかも。こんなに全体が黒くなることはないかも。

マズルブレーキ（消煙器）が付いた61式戦車でもここまでならなかったような気がします。



先述しましたが、転輪・キャタピラ部にはピグメントを沢山使用しました。私は貧乏性なので、最初は水で薄めて塗っていたのですが、粒子がバラバラに付着するだけで泥の表現になりませんでした。なので意を決して（大げさな・・・）ペースト状のまま使用しました。まァ、当たり前前の使い方なんですけどね。車体下部も、かつて74式戦車の下にもぐりこんで整備していた頃を思い出しながら、ひたすらピグメントを塗り付けました。

実際、戦車の下は本当に泥だらけです。もう、ドロドロのカッピカピです。



牽引ワイヤーはいつもと同じくフラットブラックを塗った後に鉛筆の粉をこすり付けてます。エンジングリルハッチには泥や埃を乗せました。車体後部には巻き上げた泥を付着させました。その泥が風雨により、上から下に流れ落ちたように泥を表現してみました。どうですか？





さて、フィギュアです。実在したオットーカリウスさんのフィギュアなので、タミヤさんも頑張ったのではないかと思います。フラットフレッシュを塗った後にクリアオレンジによるシミ入れを施しています。勲章や階級章は老眼に移行している私の眼にはだんだん厳しいものになってます。

戦車服はタミヤアクリルで塗装してシミ入れ、そしてパフでドライブラシです。どんなもんでしょうか？オットーカリウスさんは、お母さん手作りの略帽（帽子）を使っていたとの事で、形が一般兵（緑の戦車服）の物と違います。息子の無事を祈ってでしょうか？母親の愛を感じますよね。

9月は自衛官採用試験が始まるので、作るペースが落ちるかもしれませんが、頑張ってます。（いや、仕事しろよ！）

話し変わって、娘に教えてもらいながら、「募集班長の模型部屋ツイッター」始めました。

「募集班長の模型部屋」  
@mokeibeya

これで皆さん見れるのかな？もし不具合があったらごめんなさい。勉強します。

また次回もお付き合いくださいね。

